

令和元年度第1回庄内町国民健康保険運営協議会会議録

- 1 日 時 令和元年8月23日(金)午後1時30分～午後2時50分
- 2 場 所 庄内町役場 第1会議室
- 3 出席委員 1番 樋渡 律子 2番 高橋 久美 3番 村上 三枝
4番 寺田 康 5番 飯淵 義晃 7番 菅原 昭治
8番 森田 哲夫 9番 佐藤 彰
- 4 出席職員 税務町民課長 鶴巻 勇 税務町民課課長補佐兼国保係長 永岡 忍
主事 伊藤 李奈 保健福祉課主査兼健康推進係長 阿部 ふみ
- 5 報告事項 (1) 平成30年度国民健康保険特別会計決算状況について
(2) 国民健康保険税条例の一部改正について
(3) 令和元年度国民健康保険税(7月本算定)について
(4) 令和元年度国民健康保険特別会計補正予算について
(5) 国民健康保険保健事業について
(6) その他
- 6 諮問事項 諮問第2号 令和2年度の庄内町国保税率・税額改正について

開 会 税務町民課課長補佐兼国保係長から開会の挨拶(13:30)
税務町民課長から、代表して8番森田哲夫委員へ委嘱状を交付。
会長に佐藤彰委員、会長職務代理者に菅原昭治委員を選挙にて選出。
会長より議事録署名員を樋渡律子委員と高橋久美委員を指名。

【意見・質問等】

■報告事項について

(事務局) 平成30年度庄内町国民健康保険特別会計の決算状況について説明。歳入歳出差引額1億207万3,901円である。基金については、平成30年度末の残高は2億6,431万7,531円となっている。

平成28年度から29年度にかけては、総医療費が下がっているものの一人当たりの医療費が上がっている傾向が見受けられた。28年度以前においても全体としては下がっているものの、一人当たりの医療費が年々上がっている傾向がある。しかし、30年度については一人当たりの医療費についても減少傾向が見受けられる。要因については分析中である。

(委員) 健康診断の受診率について安定しているようだが、受診率を上げるためにはどのようにしているのか。

(事務局) 去年から保健福祉課で未受診者を受診させるということを事業化してる。昨年度は未申込者に健康診断を受診するように電話かけを実施した。

(事務局) 国民健康保険税条例の一部改正について説明。医療給付分の課税限度額が58万円から61万円に、軽減判定基準額が5割軽減と2割軽減により入りやすくなる内容の改正となっている。

(事務局) 令和元年度国民健康保険税(7月本算定)について説明。当初予算と比較すると3,000万円程度の増で、所得割が想定より増えたことによる。更に、被保険者数、世帯についても見込みより増えていることも要因の一つである。

(事務局) 令和元年度国民健康保険特別会計補正予算について説明。

(事務局) 令和元年度国民健康保険保健事業について説明。

(委員) 健康診断結果説明会の出席率はどのくらいか。

(事務局) 約3割程度である。

(委員) 人間ドックについて、5年ごとに無料になることを未受診者はわからないのではないか。周知方法を考えてはどうか。

(事務局) 今年度は個々の状況によって、それぞれのはがきを郵送することを計画している。また、保健指導においては、昨年度よりマルチマーカというシステムを導入し、今年度から本格的に稼働する予定であり、健診結果を全て取込み、将来的にどうなるか、個人個人に指導が出来るような資料を作成するためのシステムである。

■ 諮問事項について

(事務局) 諮問第2号、令和元年度の庄内町国保税率・税額改定について説明。

【その他】

(事務局) 庄内地区の国民健康保険運営協議会連絡会総会委員研修が10月18日に響ホールで開催される。今年は庄内町が当番幹事となっているため、ぜひ参加していただきたい。

7 閉 会